

3月に開催された平成30年第2回置戸町議会定例会で、町長が町政執行方針を述べ、その実現に向けて必要な予算が決定されました。今回は、町政の基本的な考え方をお知らせします。

本年度は、第5次置戸町総合計画の集大成とともに、新たな第6次置戸町総合計画策定の準備を進める年であります。

時代に即した効果的・効率的な行政機構の見直しを行い、引き続き「町民みんなの笑顔がかがやく町づくり」を基本理念に、町民が安心・安全に暮らせるまちづくりを推進してまいります。

昨年8月には、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが北海道上空を通過するという事態が発生し、緊迫化する国際情勢と空からの脅威を改めて実感いたしました。頻発する記録的な大雨などの災害

平成30年度 町政執行方針 (要旨)

も含め、万が一の事態に備え、町民の生命と財産を守る防災・減災の取り組みを進めてまいります。

本町における財政見通しは、急速に進む人口減少や景気低迷による町税の減少傾向、地方交付税の歳出特別枠の廃止などにより、依然として厳しい状況にあります。

平成30年度の予算編成にあたっては、財政の健全性の維持を基本として、限られた財源の中で重要度・緊急度の高い事業を選択し、優先して取り組むことといたしました。

活力あふれる豊かなまちづくり

○農業・畜産関係

本町の基幹産業である農業を取り巻く情勢は、米国を除く環太平洋経済連携協定（TPP11）や日EU経済連携協定（EPA）の大筋合意を受け、国内農業への急激な影響が懸念されております。

国内だけでなく国際競争力が求められる中で、本町農業が将来にわたり安定して継続できるよう、新規担い手の育成と確保、農地の生産力、収益力の向上を目指す取り組みを進めてまいります。

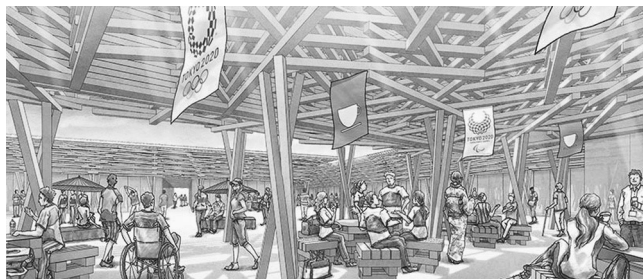
- ・道営農業競争力強化基盤整備事業（土地改良）の継続実施
- ・町道雄勝幸岡線の改良工事（農道整備）の完了
- ・小麦収穫機械導入に対する支援
- ・公社営草地畜産基盤整備事業（草地整備）の継続実施
- ・釧北牧場人工授精施設塗装工事の実施
- ・きたみらい哺育育成センターへの採草地貸付料の減免措置を継続実施
- ・多面的機能支払事業の継続実施（農業関連施設の保全）

○林業関係

本年度より、「第14次町有林森林経営計画」がスタートいたします。町有林の効率的な森林施業

の実施、環境保全を含めた森林機能の充実を図ってまいります。

- ・新規林業労働者の確保と通年雇用に向けた支援のため「置戸町林業担い手確保・通年雇用支援事業補助制度」を創設
- ・林業の振興と効率的な森林整備の推進及び地域材の利用促進に向けた支援のため「置戸町林業・林産業機械導入促進事業補助制度」を創設
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村ビレッジプラザに町有林の認証材を提供



東京五輪ビレッジプラザ内観イメージ(東京2020提供)

○商工業関係

置戸町美しい商店街奨励事業制度の延長と置戸町未来の起業補助事業の有効活用により、商工業の活性化を図ってまいります。